第1回 辰野町基本構想審議会 議事録

日時：令和7年1月28日（火） 午後6時30分～

場所：大会議室（第6会議室）（辰野町役場庁舎2階）

- 次第：1. 開会
2. 委嘱書の交付
3. 審議委員の紹介
4. 町長あいさつ
5. 会長の選出
6. 協議事項
 (1) 辰野町第6次総合計画（前期基本計画）実施状況について
 (2) その他
7. その他
8. 閉会

議事内容

(1) 辰野町第6次総合計画（前期基本計画）実施状況について

- ・ 資料に基づき、事務局より辰野町第6次総合計画（前期基本計画）実施状況について説明。
- ・ 質疑は下記のとおり。

A 委員

男女共同参画について、私も区で区会議員となる予定で、男女共同参画にしていきたいが、私たちに来ている資料は世帯主の人しかいない。各役員がお願いに行って、頭を下げて、役員になってくれませんかと夜中に何度も周りながら集めている状態。とても男女共同参画という状態ではない。区長たちは家族名簿を持っていると思うが私たちは見られない。その中で女性の方でぜひやりたいという人がいれば、こちらに情報をいただきたい。

これから先、各区の1番問題が町内会等だと思っている。力仕事に難しいとか書いてあるが、別に力仕事は女性の方に頼まなくても私たち(男性)のできる範囲はたくさんある。ぜひ女性の方に入ってもらいたい。

今年の秋に JA 上伊那辰野支所祭と商工会祭りがコラボした。今後はさらに子育て応援フェスもまとめて実施し、町全体を盛り上げたい。特に商店街に人が流れるように考えていきたい。その時はまた広報として商工会からも出す。ぜひ協力いただければと思う。

総務課長	<p>区については、実際に女団連と区長会の意見交換会でも意見があったが、それぞれ事情が違う。ただ、情報不足のところは、お互いにコミュニケーションを取っていくというのが1つの方法かと思う。意見交換会も実施をしたが、色々な情報交換を実施したいと思う。</p> <p>また区長にも、このお話があったことは機会を見て伝えさせていただきたい。</p>
副町長	<p>町内で色々な団体がやっているイベントを同日開催にし、繋がりをというご意見について、例として次回の子育て応援フェスはJA、商工会のイベントに合わせることができそう。</p>
B 委員	<p>この総合計画というのは、辰野町を作っていく中で1番の背骨であって、1番大切な計画。この目標に向けて日々ご尽力されていると認識している。今日審議しているのは令和5年度分ということで、前期基本計画の真ん中。3年目ということで、残り令和7年度で前期基本計画が終わる。</p> <p>私が少し驚いたのがこの評価で、ほとんどの施策が改善とか改良して継続する。それだけでなく縮小というのは考えられていないのか。令和7年度もあるが、この継続に対するもう少しシビアな評価が欲しかった。</p>
事務局	<p>実績的に見ますと、目標に対しての成果が伴わないものもある。今までやってきた令和3～4年度は、コロナ禍の影響等もあり、実施できなかった。そのようなものが、ここで令和5年度になり、できてきた。そういった中での評価。実際にきちんと数値に出せないようなものもあった。逆に施設の利用者数等は、きちんと出せるものもあり、そのうえで町で評価をさせていただいた。</p> <p>Cの評価ではないが、ごみの量が増えてしまったというようなところがあり、そういったところは確認させていただき、今後につなげていきたい。</p>
総務課長	<p>私の方で1点補足をさせていただく。実際の業務を評価した立場で申し上げますと、この継続のBとCが、ご覧いただくとおりに、Cは縮小しつつ、改善、改良して継続という形になっておりまして、Bは現状の規模で継続。規模は継続だが、その中に改善、改良というのは当然含まれている。</p> <p>分類で分かりにくいところがあるかと思うが、縮小ではなくて、改善しながらも現状の規模でという意味合いで私どもの評価している。その点もご理解いただければと思う。</p>
B 委員	<p>数字的に見えてこないものがあると、今お答えになったが、指標という形でちゃんと全部1つ1つが目標があるため、しっかりシビアに見ていただきたいという要望させていただく。</p>

C 委員	<p>ふるさと納税の返礼品を開発するというので、今から3年前、民間企業が町に来ていただいていると思うが、その後、その会社はということになっているのか。ふるさと納税を開発しているのか。</p>
	<p>商店街の「10年後に目指している町の商店街」というのはどういう商店街なのか。あの商店街がリニューアルした、それも3~2日間賑わっただけで、そういう町を目指しているのか、もっと地道に、本当にこの辰野町に住む人たちに、潤うことができるような商店街を目指しているのか、そこをお聞かせいただきたい。</p>
まちづくり 政策課長	<p>委員ご指摘の民間企業につきましては、当町へ事業展開され、現在、町の指定管理施設の指定管理者ということでご協力いただいている。ふるさと納税の返礼品では、パインジュース、ポルケッタっという肉詰めのような食べ物があり、それらの商品開発をしていただいた。それをふるさと納税の返礼品ということで展開しているという状況。</p> <p>現在は、指定管理者ということを中心に事業を展開していただいている。</p>
C 委員	<p>それは川島に本社を持ってきて営業するというのは、なくなったのか。</p>
まちづくり 政策課長	<p>川島に本社を所在していただいているところではあるが、営業所は別にある。</p>
副町長	<p>当初は川島で加工工場をという話だったが事業方針を変えた。実は加工工場には水が必要になるが川島では水が足りない。加工には向いてないということで諦めたようである。</p>
産業振興課事業 者支援担当課長	<p>令和元年に下辰野の商店街周辺を会場にしてイベントを行って、その日は約4000人が歩いた。10年後にその4000人が毎日歩いてくれる、そういうことを目指しているのではなくて、いわゆる全部のお店が開くのではなく、ここは何にもやってないけどここはやっているというような形で、歩いて楽しい商店街を目指していると思っている。</p> <p>要は、町に住んでいる人も歩いて楽しい、商店をやっている人も説明する楽しさがあると思う。そういうものを目指している。</p>
C 委員	<p>その歩いて楽しい商店街ってイメージが本当に湧かない。よっぽどあの商店街が魅力的であったなら、歩いていても楽しいと思うかもしれないが、何年かやってきてお店はできるけれども閉まっている。一時は20店舗以上もできていたというが、資料見ると14店舗ぐらいに減っている。できては減り、また減ってしまったのを増やす。そんな繰り返しみたいに見える。その歩いて楽しい商店街を作るには、相当の覚悟でやっていただかないとできないかと思う。</p>

産業振興課事業者支援担当課長

目標までの期間を踏まえるとまだ半分過ぎたばかり。目標は 10 年後。今試行錯誤を繰り返している段階。まだ結果を求めてもらうには早い。温かい目で見てもらえれば嬉しい。

D 委員

商店街という活動について私も携わっているが、まず町が事業をやっているものではない。私が代表を務めている一般社団法人は民間のまちづくり会社で、この会社が事業として取り組んでいるもの。

それに町から協力いただいている、応援いただいているという部分がたくさんある。まずそのところが 1 番ベースに置いていただきたい。

誰にとって歩いて楽しい町を作ろうか、誰ってというのが多分抜けている。まずは自分たちが歩いて楽しい町を作りたい。どうせ民間の会社が自腹を切って、時間を使ってやるのであれば。そして、できれば若者に選ばれる町、要は 未来が明るいと思うところではないと若者は来ない。若者が来ない町は未来がない。

僕たちもお金も時間もたくさんあるわけではない。限られた資源の中で誰のためにやるのか取捨選択をしていくと、まずは若い人たちが楽しいことができる町、チャレンジできる町、そういう風に思ってもらいたい。色々なお店が出てきて、歩いて楽しくなってきたな、帰ってこようかなとか。

本来であれば、今ご商売をされている既存店の方にも多くのお客さんが流れて、売り上げが立って儲かる。そこまでやれたら私たちも最高だと思っているが、そこまでの力は我々にはない。でも、やれることからやらないと、町は寂しくなっていく。

民間企業ができる限りの努力の中で進めさせていただいており、それを多くの方に応援をしていただけるとありがたい。分かりづらい部分も多くあると思う。情報発信もできてない部分も十分把握している。ただ、相当な覚悟を持ってやっている。地域にまた再投資をし、そういったことが増えてくれば町は面白くなる。年齢問わず、自分の町は自分で創る、自分たちも楽しいを自分たちで創る、そういう想い。

A 委員

町の商店街をよくしようというのは、商工会も一緒にやっている。商工会としても、フューチャーセンターから始まって、駅前から歩いていくシャッター街をなんとかしようということで、色々考えながらやっている。どこにどんなお店があるか町民に知られていないということで、地図作ろうとか、既存店の人たちにももう少し力をつけていただくとか。

せっかく広い歩道ができた通りで、やっぱりそれを活かさなければいけない。見えないところがあるかもしれないが、協力をして、商工会も本当に本気になってやっていかなきゃいけない。

D 委員

PPP、PFI、 要はこれ公共と民間が手を組んで、使っていない公共が持っている不良財産などを活性化させていくもの。特別な法律もある。公民連携の施策の一つ。まず 55 ページについては、私

の評価で言えばAでいいのではないか。理由とすると令和5年度3月には、元辰野病院の医師住宅で町が持っていた財産。こちらを民間企業が、まさにこのPPP、PFI事業をして、日本一金額が小さい、使われなくなっていた医師住宅を民間賃貸住宅に生まれ変わらせた。

世の中の流れでは、今年の12月に国でもPPP、PFIプラットホームが立ち上がった。今は国を挙げて推進していくという流れ。長野県においても12月にPPP、PFIプラットホームが立ち上がった。いわゆる長野県も力を入れていこうというところ。ちなみに今まで長野県の中ではこの取り組みが過去3件しか事例がなかった。辰野の医師住宅は長野県で4例目。荒神山のサウンディングもPPP、PFIでやられているかと思う。そういう意味では長野県の中で見ても、かなり進んでいる。

25%削減してかなきゃいけないという数値目標もあるかと思うが、できれば評価をA、または力を入れていくと記載していただけないかなと思っている。

まちづくり
政策課長

評価をAがいいのではないかという心強いご発言をいただきまして、感謝申し上げます。公共施設が現在の人口と比べると多くの面積を持っている現状の中で、25%の削減を将来的には目指していくということになっている。面積の中にいわゆる民間での運営形態に変換というのはこの25%の中には入らない。取り壊し、売却だとかが対象となってくる。ただ、取り組みとしては1年目ということの中で非常に大きな1歩だった。今後もこのPFIだとかの事業を使って事業の展開をしていくことを目指しながら、事業に合うような町として保有する使われてない資産があれば、これから変換していくということも目指していきたいと思っている。

この年度については、他に公共財産の活用の方法ということで町有地で駐車場だとかを持っている。その利用状況等を鑑みながら、相対的にある程度進んでいるとして80%と評価した。

D 委員

その25%は取り壊しと売却と言われたが、要は評価がされない状態に今あるというのが問題だと思う。取り壊し、解体というのは、要はお金をかけなくて良くなるから、取り壊すとか売却すると思う。一方で運用というのもお金がかからない。むしろお金が入ってくる。この運用というものを25%削減の対象であるとその評価項目を変えられることをご提案させていただきたい。

まちづくり
政策課長

公共施設等総合管理計画の中では全国一律で評価の仕方が決まっている。運用することがいけないということではない。ご意見としてありがたく受け止めたいと思う。

(2) その他

- ・ 事務局からは第6次総合計画後期基本計画のアンケート調査等のスケジュールについて説明。
- ・ 委員から質疑等なし。

7. その他

E 委員

第6次総合計画の策定スケジュールについて、今想定しているものがあればお伺いしたい。

事務局

今、目に見えてお出しできるものはない。今後について、アンケートは調査票を作り、コンサルに入らせていただいている民間企業に投げさせていただいている。その中で年度末に向けて、アンケートの内容をまとめて、その結果をお示ししながら、庁内で委員会を立ち上げ、各団体の皆様からのご意見をお伺いしながら計画を作っていくたい。

E 委員

この前期基本計画が来年度で終わって、再来年度から新しい計画に入ることになる。来年度が大変重要な1年になるかと思う。

この審議会の従来からこういうやり方が分からないが、今日の審議で承認をできるかどうか、10ヶ月前の話を我々に聞いている。10ヶ月前の職員の活動結果が今報告されている。10ヶ月後に評価をもらうというのは普通なのか。

委員がされた質問は、一部を除き、今どうなっていますかとか、今後どうしますかという内容。やはり町民は深い関心を持って見守っている。

令和5年度が終わり、次の令和6年度もあと2か月で終わる。令和7年度は、後期の計画を策定するためのんびりしてられない。例えば令和6年度のレビューは2か月間でやるとか、そのぐらいのスピード感を持ってやらないといけない。

本来であれば前期の5年間の評価を受けて後期の5年間の計画を立てる。それがまた来年、このタイミングで令和6年度のレビューをやると言っても意味がない。

他の自治体がどのように、この評価を審議会、町民から受けているのか分からないが、少なくとも町側はなるべく早いタイミングで委員であったり、町民に示す必要があると思う。

来年1年は本当に大切。並行してやるのは現実的にはおかしくて、やはり評価というのはなるべく早く終わらせるような意識を強く持ってやっていただかないと、後期の計画の説得力が欠けてくるかと思う。そこを一言ご要望させていただく。

副町長

確かに今年は例年より遅くなった。毎年これを報告するのは決算が終わってすぐの9月以降にしなければいけない。来年度以降はもっと早くやるように、特に来年はこの前期の5年間分をまとめて評価する時期になるので、しっかりと中身について議論できるようにしていきたいと思う。

閉会。

以上

第1回 辰野町基本構想審議会 出席者名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	役職	出欠
辰野町区長会 会長	宮原 正尚	会 長	出
辰野町女性団体連絡協議会 会長	赤羽 弘江	副会長	出
辰野町議会 議長	舟橋 秀仁	委 員	出
辰野町議会 副議長	津谷 彰	〃	出
辰野町商工会 会長	檀原 隆宣	〃	出
辰野町農業委員会 会長	宮島 勇	〃	出
辰野町教育委員会 教育長職務代理	飯澤 隆	〃	出
辰野町民生児童委員協議会 会長	赤羽 正臣	〃	出
辰野町観光協会 会長	中谷 勝明	〃	出
辰野町赤十字奉仕団 委員長	荻原 恵都子	〃	出
男女共同参画社会推進委員会 副委員長	山寺 はる美	〃	出
辰野町 PTA 連合会 会長 (東小学校会長)	林 まどか	〃	出
辰野中学校 PTA 会長代行 (辰野中学校)	岩崎 和矢	〃	欠
保育園保護者協議会 会長 (小野保会長)	上條 美幸	〃	出
保育園保護者協議会 副会長 (羽北保会長)	中谷 友紘	〃	欠
総務省地域力創造アドバイザー	赤羽 孝太	〃	出

事務局

辰野町	副町長	山田 勝己
まちづくり政策課	課長	三浦 秀治
	DX 推進担当課長	赤羽 謙一
	課長補佐兼企画経営室長	野澤 貴子
	課長補佐兼財政係長	竹村 昌代
	課長補佐兼 DX 推進室長	矢ヶ崎 和広
	まちづくり係長	一ノ瀬 雄大
	まちづくり係 係員	磯村 実希